

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスすまいる			
○保護者評価実施期間	R6年 8月 1日 ～ R6年 9月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	R6年 8月 1日 ～ R6年 9月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・庭付きの芝生があり、室内活動以外にも外で活動ができる。 良い天気時には外出以外にも室外で自然の中で療育ができる環境が整っています。床が人工芝生のため、安全性にも整っています。自然の風にあたりながら、室内でできない活動を実施しています。	・集団や個別、それぞれの時間を工夫しながら療育に取り組んでいます。 ・タープを置いて夏の日差し防止	
2	職員それぞれ専門的知識を用いているが、それ以外にも利用児童のためにここが療育に力を入れて、楽しんでもらっています。職員間で統一した活動にお互い切磋琢磨しながら励んでいます。	・定期的なミーティングを行い、それぞれ意見を言い合うことで、最終的な目標を立てることが出来る。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人員が不足しているため、マンパワーが利用人数によって足りないことがある。よって療育時間が短く、リスク軽減のためにゆったり過ごすことがある。	・個々のタイムスケジュールの中で、療育や子供との関わり方が難しいと懸念を感じて言う。 イメー ジしていた仕事ではないことから、断念する方が多い。	・早急に求人を掛け、人材を募集している。 ・面舌前に見学に来てもらい、活動時間などを知ってもらおう。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスすまいる

公表日 R6年 10月 31日

利用児童数 R6年 10月 1日 回収数 4名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4名					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4名					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4名					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4名					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4名					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4名					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4名					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4名					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4名					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		4名				
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				4名		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4名					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4名					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			4名			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4名					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4名					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4名					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				4名		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4名					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4 名					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4 名					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4 名					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4 名					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4 名					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4 名					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4 名					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4 名					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4 名					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4 名					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後デイサービスすまいる		R6年 10月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	施設内はバギーや車いすが十分に移動できるスペースを確保。個別での支援が必要な場合はパーティションを用いスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	必要配置数は確保している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	玄関先に段差あり、簡易スロープにて対応	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃や物品洗浄・消毒の実施にて環境整備している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	体調が優れない利用児童や個別指導として部屋を設けている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	全職員にて共有と計画実施、振り返り及び修正をしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者からの意見の元、日々振り返り支援計画に反映している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼などにより、当日の支援などを取り組んでいる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	第三者委員会を設置、実施している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修内容の掲示と希望を募り、それぞれ参加機会を設けている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0%	100%	個別支援計画をもとに個々の支援を共有し、プログラムを作成に取り組む	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	定期的にあセスメントやモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日々のミーティングや振り返りを実施の上、目標を見立て支援に取り組んでいる	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保護者からの要望を職員間で共有し、日々の取り組みを行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	他デイが使用している様式などを参考にしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	他デイや他機関などの情報をもとに保護者との連携に伴い支援計画を作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	必ず情報を共有し、意見を言い合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	固定化しないよう、週や月ごとにプログラムを変更している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	児童の健康状態や意向に沿って作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	業務負担やそれぞれ実施する分野が偏らないように工夫している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	男女別のファイルに分けて情報連絡ノートを活用している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	業務日報や連絡ツールにて記録。その後振り返りを行い改善点を共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	最低6ヶ月ごとにモニタリング、担当者会議を開催参加し、計画を実施している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援責任者及び医療的ケア児に関して看護師も同席して専門性を発揮できるよう調整している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	医療連携シートを通して医療機関と情報を共有している。園や学校に対しても送迎時や担当者会議を共有している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	インクルージョン推進を実施している、利用児童がすくないため、今後の参考に見学などを行い情報を共有する。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保護者や相談支援員を通して、会議を行い情報を共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0%	100%	今後、研修の機会などの予定があれば、参加する予定	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	今後交流会を調整していく	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や担当者会議だけでなく、個別訪問実施し、話し合う機会を設けていく	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	今後家族の要望の元、実施調整していく	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時、資料を用いて十分に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	定期的なアセスメントを取り、支援計画に取り組んでいます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	定期的なモニタリング実施時に説明を行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	事業所用のラインなどで連絡ツールを実施し、適宜相談を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	事業所内でイベントを通して連携ができるようにする	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	その日に解決できることがあれば、対応を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月、会報や個別活動評価表を電子化し、発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の記載があるものは鍵付き保管にし、事業所より持ち出さないようにしている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	送迎時や連絡ツール使用だけでなく、個人面談を個別に設け、それぞれに対応したコミュニケーション方法を都度確認している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	地域交流としてだんじり小屋の訪問を計画	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0%	100%	現在作成及び構成中。作成次第速やかに訓練実施予定	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	災害用避難訓練を実施。備品などを購入中	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用開始前、契約時にアセスメントシートを用いて漏れの内容に情報を取得している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	現在事業所からの食事提供はないが、医師の医療連携シートを活用し、アレルギー情報収集し把握している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	外出支援の際、十分に必要な配慮などを共有し安全に行われている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	やむを得ない危険が生じないために未然防止をするために保護者と連携を図っています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットについて個々のスタッフが気になったことはすべてピックアップし、対策について情報を共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置しており、虐待防止研修を事業所内で適宜実施して行く予定	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	ヘッドギアや車いす固定ベルト等装着の安全上必要な事柄については保護者の希望の元説明と同意を得て実施している	